

2018年度 日本農業 経済学会



平成30年

5月26日(土)・27日(日)

会場:北海道大学 高等教育推進機構

(最寄り駅:地下鉄南北線 北18条駅)

〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目

大会参加費

4,000円(学生会員 3,000円)

懇親会費

5,000円(学生会員 3,000円)

5月26日(土)

9:00~
9:05

開会・開催校挨拶

9:05~
9:20

会長講演

9:20~
16:00

シンポジウム

「地域」と次世代型
農業経営体との関係性

座長:松本 武祝(東京大学)、伊庭 治彦(京都大学)

■報告

- 1) 農業規模の維持に資する地域と次世代型農業経営体との関係性
若林 剛志(農林中金総合研究所)
- 2) 東北における農地集積主体の展開条件と兼業滞留構造
野中 章久(農研機構・東北農業研究センター)
- 3) 多様化する農の主体 ―ジェンダー論からの分析―
靄 理恵子(跡見学園女子大)
- 4) 地域農業の維持と農協の機能
一次世代型先進的農業経営体との関係から―
小林 国之(北海道大学)

■コメンテーター

第1報告・第3 報告を中心として
澁谷 美紀(農研機構・北海道農業研究センター)

第2報告・第4 報告を中心として 小林 元(広島大学)

16:10~
17:00

総会・学会賞表彰

18:00~
20:00

懇親会(北大生協北部食堂)

5月27日(日)

9:00~
16:00

個別口頭報告

11:00~
12:00

個別ポスター報告(プレゼンテーションと質疑応答)

※これ以外の時間帯にもポスターは掲示されています

9:00~
12:00

第1回連携委員会・国際委員会共催シンポジウム

後援:農林水産省

農業貿易のパラダイム・シフト

―格差縮小の通商協定を探る―

座長:草苅 仁(神戸大学)、木村 崇之(農林水産省)

■報告

- 1) 通商交渉の展開と展望 ―現場からの報告―
萩原 英樹(農林水産省)
- 2) 従来型優遇策と開発アジェンダの今日的意味
千葉 典(神戸市外国語大学)
- 3) 途上国の経済開発と通商協定の行方
福井 清一(大阪産業大学)
- 4) 農業貿易問題と日本のポジション
生源寺 眞一(福島大学)

お問い合わせ

日本農業経済学会事務局 (株式会社 共立内)

ホームページ:<http://www.aesjapan.or.jp>

TEL:03-3551-9891(代表) / FAX:03-3553-2047

E-mail:office@aesjapan.sakura.ne.jp

